



新桂沢・熊追発電所 更新工事かわら版

工事状況

熊追発電所改造工事 進捗

2020年7月現在、熊追発電所改造工事現場では、前回かわら版 No.7 に引き続き、よう壁の内側に土を入れ、敷地のかさ上げを行う“盛土”の工事が行われています。4月時点ではよう壁の大部分が立ち上がり、5月には発電所南側のよう壁も完成し、高い壁が周囲を囲んでいました。6月には東側よう壁は内側がほとんど埋め戻されて見えなくなり、西側の入口から見上げると約10mの高低差があります。(写真①)

他には、発電所内の階段の取り付けや、上流にある導水路の補修工事なども行われています。

本年度は上記工事以外にも、天井クレーンの設置工事、発電所建物の新築などを行いますので、工事進捗に合わせてそちらの模様もお伝えしていきます。



写真① 熊追発電所盛土状況(6月)

新桂沢発電所新設工事 進捗

新桂沢発電所工事現場では現在、発電所内において新たな発電設備の設置、屋外では調圧水槽付近ののり面の保護工事が行われています。

このうち、発電所内では6月、発電に使う水を水車へ導く渦巻き状の形をした“水車ケーシング”の据付が行われました。(写真②)

水車ケーシングはその形から「カタツムリ」と呼ばれたりもします。また、この上流側に水を止めるための入口弁という部品も取り付けられました。

他にも、発電に使った水を川に戻すための放水路の内部補修工事や、資材運搬用の索道の架け替え工事が行われています。

本年度は上記工事以外にも水車ランナーおよび発電機の据付などが行われる予定で、こちらも熊追と同様、進捗と共にお伝えします。



写真② 水車ケーシング据付状況

今回のトピック

地域共生活動

2020年6月2日、三笠市幾春別地区において行われた花植えボランティアに弊所と弊社桂沢電力所から所員が参加いたしました。

当日は好天の下、三笠開拓記念広場他2箇所で花壇への花植えを行いました。新型コロナウイルス感染症流行中の実施のため、全員マスクを着用のうえ、地域の方々と一緒に花植えを行いました。綺麗に花々が並んだ花壇を見ると心が洗われるようでした。(写真③・④)

弊社は今後とも三笠市における催事のお手伝い、ボランティアなどの共生活動を通して地域の皆様との交流を深めていくことを目指していきます。



写真③・④ 幾春別地区花植えの様子

<参考資料>

計画概要

新桂沢・熊追発電所更新工事計画は、北海道開発局が幾春別川総合開発事業の一環として既設桂沢ダムの嵩上げをするのに伴い、桂沢発電所と熊追発電所の設備改造および補強を行い、併せて老朽化した水車・発電機他の更新を行うことによって、嵩上げ後の新桂沢ダムに新たに発電参加するものです。

発電所更新計画

■新桂沢発電所

既設桂沢発電所は、ダム水位上昇のため廃止し、既存水路の改造・補修、調圧水槽の改造、水車発電機の全面更新を行い「新桂沢発電所」とします。有効落差増により出力は15,000kWから16,800kWに増加する計画です。

■熊追発電所

ダム水位上昇に伴う冠水対策として、敷地嵩上げ工事を実施します。併せて老朽化した既存水路の改造・補修を実施するとともに、水車発電機の全面更新により出力を4,900kWから5,100kWに増加する計画です。

発電計画諸元表

項目	単位	桂沢発電所	新桂沢発電所	熊追発電所	更新熊追発電所	
河川名	-	石狩川水系幾春別川		石狩川水系空知川支流芦別川		
発電方式	-	ダム水路式	同左	ダム水路式	同左	
ダム	ダム名	桂沢ダム	新桂沢ダム	芦別ダム	同左	
	形式	重力式コンクリート		重力式コンクリート		
	高さ	m	63.6	75.5	22.8	同左
	貯水容量	10 ⁶ m ³	81.8	136.4	0.21	同左
	HWL	EL.m	187.0	193.1	335.0	同左
LWL	EL.m	158.0	同左	334.0	同左	
発電機 (出力×台数)	kVA×台	9,000×2	9,400×2	5,500×1	5,700×1	
発電 計画	有効落差	m	75.0	81.5	146.4	146.0
	最大使用水量	m ³ /s	23.5	同左	4.0	同左
	最大出力	kW	15,000	16,800	4,900	5,100
	運転開始予定	-	2022年6月		2022年4月	

※増減がある部分は赤字で表記

《発行元》

電源開発株式会社 新桂沢水力建設所

〒068-0825 北海道岩見沢市日の出町24-9

TEL : 0126 (25) 7050 FAX : 0126 (25) 7113

問い合わせ先：総務グループリーダー 青柳